



学校だより

令和7年度 11・12月号
学校法人松蔭学園
松蔭大学附属
松蔭高等学校

HP : <http://www.shoin.ed.jp/>

Blog : <http://www.shoin.ed.jp/category/information/>

2年生 修学旅行

11月4日(火)より3泊4日で修学旅行に行ってまいりました。

○旅程表

- 一日目 東京駅 → 新山口駅 → 秋芳洞 → 秋吉台 → 松陰神社 → 萩の宿 千春楽(泊)
- 二日目 宮島(厳島神社) → 平和記念公園・資料館 → 尾道国際ホテル(泊)
- 三日目 千光寺公園・千光寺 → 富来屋本舗 → 倉敷美觀地区 → 吉備津神社
→ ダイヤモンド瀬戸内マリンホテル(泊)
- 四日目 旧閑谷学校 → まねき食品 → 姫路城 → 姫路駅 → 東京駅

○生徒の一言コメントと写真

一日目・二日目

- ・秋芳洞では、鍾乳洞の大きさと、長い年月をかけて形成された地形の神秘を感じました。
- ・松陰神社では松陰先生の正直さと知性に心を打たれました。
- ・厳島神社では、海に埋まっていない鳥居は大迫力で、地中に埋まっていないことを知り、先人の知恵に感動した。
- ・平和記念公園では、戦争の悲惨さを改めて深く考える時間となった。



三日目・四日目

- ・倉敷美觀地区では、伝統的な街並み、当時のグルメを堪能することができました。また、街の中心を流れる川を静かに進む船の光景が心に残りました。
- ・姫路城では、石垣の積まれ方に、徳川家康と池田輝政の性格の違いが現れていて、とても面白かったです。また、敵が攻め込みにくくするために、階段を急にするなどの工夫が詰め込まれていて、当時の考えをガイドさんから学ぶことができました。



球技大会

9/30(金)に行った球技大会において、延期になったバレーボールの試合を 11/15 日(土)の3.4 時限目に行いました。欠席者も多い中でしたが、それを感じさせないほどの熱い応援が体育館に響いていました。練習の成果がしっかりと発揮された、息の合ったチームプレイを観ることができました。生徒の皆さん本当にお疲れさまでした。

バレーボール試合結果

【男子】

- ★第1位 3年 A チーム
- ★第2位 2年 A チーム

【女子】

- ★第1位 1年 A チーム
- ★第2位 3年 A チーム

PTA より

10/18(土)・10/19(日)の両日に行われた文化祭において、今年も PTA バザーを行いました。たくさんの保護者の方々のご協力のおかげで、大盛況のもと、実施することができました。

売上金につきましては、先生方のご意見なども参考に、できるだけ多くの生徒に活用できる方向で検討してまいります。バザー販売品のご提供から、準備、当日の係にいたるまで、お手伝いいただき誠にありがとうございました。

PTA 会長 新井 泰美

税に関する高校生の作文

1年生は、公共の授業の一環として、夏休みに「税に関する高校生の作文」に応募しました。その結果、野尻さんの「税の意義と役割について考えたこと」と深谷さんの「見える化する」の2作品が北沢税務署長賞を受賞しました。

12月18日(木)には、北沢税務署より堀込進署長が来校され、校長および教員同席のもと、校内にて授賞式が行われました。

受賞者1人ひとりに賞状が授与され、税について考えを深める貴重な機会となりました。

保健だより

2025年・令和7年が終わろうとしています。

ちょうど1年前の自分に言葉をかけるなら、何と言うでしょうか?

松蔭を受験することになった中3の時。高校は科目が多くて勉強って大変!と思っていた1年の時。もうすぐ先輩たちが卒業してしまう…新入生が入ってくるし、最上級生って言われるし、進路も考えなきゃと思った2年の時。

時が経つのは、本当に早いですね。

プラスとマイナス

「最近、うまくいかないことが多いばかり…」「自分が嫌になる」なんて、悩んだり、落ち込んだりしていませんか。

でも、ものごとには、必ずプラスとマイナスの両面があります。たとえば、かぜをひいて苦しい思いをしたくなってしまう。かぜをひいたことはマイナスかもしれませんか、かぜ

をきっかけに健康のありがたさに気づいたり、日頃の生活習慣を見直したりできるたり、あたたかくとってプラスになるという見方もできます。

勉強やスポーツも同じです。ピッチの先には、きっとチャンスの扉があります。この視点を変える方法、おすすめです!

冬休みはデジタルデトックスにトライ!

自由な時間が増える冬休みは、いつも以上にスマホをはじめとしたデジタル機器を長時間使ってしまいがち…。だからこそ、デジタル機器から意識的に距離を置いて心身の疲労やストレスを軽減する「デジタルデトックス」にトライしてみませんか？ ただ、いきなりゼロにすることは難しいですし挫折しやすいと思います。そこで、次のような工夫やルールを何かしら取り入れることによって、少しでも使用時間を減らせるようにしてみましょう！

●使う場所を 限定する

（例：リビングだけで使う、
寝室では使わないなど）



●電源を切る時間帯を 具体的に決める

（特に就寝前の何時間かは
切るようにするとよい）



●手元に置かないようにする (視界に入らないようにする)



●SNSなどの通知を オフにする



●代替となる別の趣味などに 時間を使うようにする